

## 設計技術講習会について

従来の外皮の詳細計算ルートでは対応が難しいと感じる方や、より簡便に結果を求めたい方などに向け、本年度から簡易評価法の運用がスタートします。

本講習の「設計技術講習」では、省エネ基準評価の入門編となる『仕様基準』および新しい『簡易評価法』に基づく断熱等の外皮性能に関わる内容を中心に、省エネ基準に則した評価方法（仕様ルートおよび簡易計算ルート）を解りやすく周知、習得することを目的としています。

省エネルギー基準の評価方法には、①仕様ルート ②簡易計算ルート ③詳細計算ルートの3つのルートがあります。3つのルートとも、外皮の断熱性能と日射遮蔽性能を評価する「外皮性能基準」と、設備機器の性能や効率を評価する「一次エネルギー消費量基準」について適否の評価をします。

### 【3つのルートの評価方法の特徴】

	昨年度からの新しい講習		従来の講習
	仕様ルート	簡易計算ルート	詳細計算ルート
作業難易度	容易	やや容易	やや難しい
作業時間の比率	1 (面積計算をしない場合)	2	5
建物形状の評価	評価しない	評価しない	評価する
窓面積の評価	評価しない	評価しない	評価する
部位間のトレードオフ	できない	できる	できる
設備の用途(暖冷房や給湯など)間のトレードオフ	できない	できる	できる
設備機器の選択肢	限定される	限定しない	限定しない
評価結果	適否のみ	数値による性能レベル	数値による性能レベル
設計技術講習会の講習日 ※詳細は案内申込書をご覧ください。	11月1日 11月15日(津山) 12月1日 1月15日		11月6日 11月22日 12月4日 1月18日